

甲府城物語

天下の要 甲府城と城下町

会場 ▶ 甲府城跡稲荷櫓

開館時間 ▶ 午前9時から午後4時30分
(入館は午後4時まで)

休館日 ▶ 月曜日(祝日は開館)、
祝日の翌日

入館料 ▶ 無料



ごあいさつ

甲府城は、今から約四百年ほどむかし、武田氏が滅んだ後に豊臣秀吉の命で浅野長政・幸長らにより完成しました。江戸時代以降は、將軍家の一族が城主をつとめるなど大変重要な位置づけをもち、唯一厚い信任を將軍から得た柳沢吉保が大名として宝永2年(1705)から城主となりました。この時代に、甲府城の石垣や殿舎等の大修築がなされ、城下には家臣団など数万人の人々が入り、城下は最も繁栄した時期を迎えました。柳沢氏が、20年ほどで大和郡山に移封し、その後は幕末まで甲斐国は幕府直轄となりました。江戸から甲府に赴任した多くの勤番士は、江戸の文化を伝え、甲府の華やかな江戸文化が140年あまり続きましたが、慶応4年(1868)に錦の御旗を押し立てた板垣退助らにより城は開かれ、長い甲府城の歴史は幕を閉じたのでした。それでは、稲荷櫓常設展をご覧いただき甲府城と城下の歴史にふれ、城下への散策へお出かけください。

主催：山梨県埋蔵文化財センター

TEL.055-266-3016

展示内容に関するお問い合わせ

ホームページ <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/maizou-nk/index.html>

1F 稲荷櫓1階展示場

■ 出土品展示 [さまざまな瓦]

甲府城跡からは築城期から江戸時代の様々な瓦が出土しています。なかでも「違い鷹の羽」の家紋瓦の出土は浅野氏により築城が大きく進められたことを示す歴史資料です。

このほかに、当時の陶磁器やキセルなどの日常品をはじめ、慶長一分金、火縄銃の鉄砲玉なども出土しました。



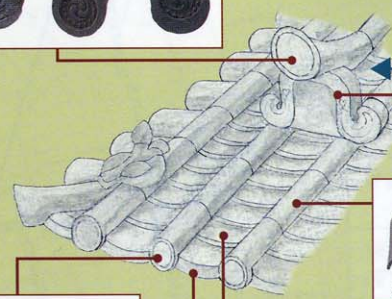
鳥袞



鬼瓦



輪違い瓦



軒丸瓦



丸瓦



軒平瓦



平瓦



城内出土の陶磁器類

2F 稲荷櫓2階展示場

■ パネル展示

武田城下町と甲府城下町

武田時代から豊臣・徳川時代への城下の変遷をご案内します。

お城と城下の名残を訪ねて

今に残る甲府城下の足跡をご紹介します。

甲府城築城物語

一条小山という小高い山にどのようにして甲府城が築かれたのか。発掘調査成果を踏まえてイラストでわかりやすく解説しています。

甲府城古写真展

明治時代には大変貴重だった写真。セピア色の写真の中に懐かしい姿が見えてきます。



築城が進む甲府城(北側上空からのイメージ)